

# 社会福祉法人清水旭山学園

## 役員及び評議員の報酬等に関する規程

(目的及び意義)

第1条 この規程は、社会福祉法人清水旭山学園（以下「法人」という。）の定款第8条及び第21条の規定に基づき、役員及び評議員の報酬等に関し必要な事項を定めることを目的とする。

(定義等)

第2条 この規程において、次の各号に掲げる用語の定義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 役員とは、理事及び監事をいい、評議員と併せて役員等という。
- (2) 常勤の役員とは、理事のうちこの法人を主たる勤務場所とする者をいう。
- (3) 非常勤の役員とは、役員のうち、常勤の理事以外の者をいう。
- (4) 報酬等とは、報酬、その他の職務執行の対価として受ける財産上の利益及び退職慰労金であって、その名称の如何を問わない。また、費用とは明確に区分されるものとする。
- (5) 費用とは、職務遂行に伴い発生する交通費、旅費（宿泊費を含む）及び手数料等の経費をいい、報酬とは明確に区分されるもの

とする。

(報酬等の支給)

第3条 役員等に対しては、職務執行の対価として、次のとおり報酬等を支給するものとする。ただし、職員給与が支給されている役員等に対しては、報酬等は支給しないが、独立行政法人社会福祉医療機構又は一般社団法人北海道民間社会福祉事業職員共済会未加入の職員（以下「未加入職員」という。）に対しては、退職慰労金のみを支給することができる。

- |            |          |
|------------|----------|
| (1) 常勤の理事  | 報酬、退職慰労金 |
| (2) 非常勤の役員 | 報酬、退職慰労金 |
| (3) 評議員    | 報酬       |

(常勤役員の報酬等)

第4条 常勤役員等に対する報酬等の額は、次に掲げる報酬等の区分に応じ、当該各号に定める範囲内で、理事会において決定する。

2 職員給与が支給されている常務理事に対し、役職手当を支給することができる。

- (1) 報酬 別表1に定める額以内とする。

(2) 退職慰労金 別表2に定める算式により算出される額以内とする。

(3) 役職手当 別表6に定める算式により算出される額以内とする。

2 非常勤の役員等に対する報酬の額は別表3に定める額以内とする。

3 非常勤の役員に対する退職慰労金の額は別表4に定める算式により算定される額以内とする。

4 未加入職員に対する退職慰労金の額は、前項の「理事・監事」の算式を準用する。

(報酬等の支給方法)

第5条 常勤の理事に対する報酬等の支給の時期は、次の各号による報酬等の区分に応じて、当該各号に定める時期とする。

(1) 報酬 毎月25日(ただし、その日が土曜日、日曜日又は祝日の場合は、職員給与規程に準じて支給)

(2) 退職慰労金 任期の満了、辞任又は死亡により退職した後2か月以内

2 非常勤の役員及び評議員に対する報酬等は、理事会又は評議員

会への出席など法人・施設運営のための業務にあたった都度、支給する。

- 3 報酬等は、現金により本人に（死亡により退任した者の退職慰労金にあつては、その遺族に）支給する。ただし、本人の同意を得れば、本人の指定する本人名義の金融機関の口座に振り込むことができる。
- 4 報酬等は、法令の定めるところにより控除すべき金額及び本人から申し出のあった立替金、積立金等を控除して支給する。

（費用）

第6条 役員等が出張する場合は、法人の旅費規程に基づいて、旅費を支給する。

- 2 役員等が職務の遂行に当たって旅費以外の費用を要する場合は、当該費用を支給する。
- 3 役員等が職務遂行に当たって自家用車を使用した場合は、別表5に定める交通費を支給する。

（報酬等の日割り計算）

第7条 新たに常勤の理事に就任した者には、その日から報酬を支給する。

- 2 常勤の理事が退任し、又は解任された場合は、前日までの報酬を支給する。
- 3 月の中途における就任、退任、又は解任の場合の報酬額については、その月の総日数から日曜日及び勤務を要しない土曜日の日数を差し引いた日数を基礎として日割りによって計算する。
- 4 第2項の規定にかかわらず、常勤の理事が死亡によって退任した場合は、その月までの報酬を支給する。

(端数の処理)

第8条 この規程により、計算金額が1円未満の端数が生じたときには、次のとおり端数処理を行う。

- (1) 50銭未満の端数については、これを切り捨てる。
- (2) 50銭以上1円未満の端数については、これを1円に切り上げる。

(公表)

第9条 当法人は、この規程をもって、社会福祉法第59条の2第1項2号に定める報酬等の支給の基準として公表する。

(補則)

第10条 この規程の実施に関し必要な事項は、理事長が理事会の決

議を経て、別に定める。

(改廃)

第 11 条 この規程の改廃は、評議員会の承認を受けて行う。

附 則

- 1 この規程は、平成 31 年 4 月 1 日より施行する。
- 2 この規程施行の際、現に役員である者の在任年数の起算日は初めて役員に就任した日とする。
- 3 社会福祉法人清水旭山学園役員等報酬並びに理事会等開催にかかる経費支弁規程は廃止する。
- 4 令和 4 年 3 月 25 日一部改正（令和 4 年 4 月 1 日より適用）
- 5 令和 5 年 1 月 10 日一部改正（別表 3 総合企画室室長を兼務する者追加令和 5 年 1 月 10 日適用）

別表 1 (常勤役員の報酬)

役職名	報酬の額
理 事 長	月額 500,000円
常 務 理 事	月額 400,000円

別表 2 (常勤役員の退職慰労金算定式)

最終報酬月額×在任年数×1.0
-----------------

※上記在任年数は1か年単位とし、端数は月割りとする。ただし、1か月未満は1か月に切り上げる。

別表 3 (非常勤役員等の報酬)

役職名	報酬の額
理 事 長	日額 15,000円
副 理 事 長	日額 12,000円
理 事 ・ 監 事	日額 10,000円
評 議 員	日額 10,000円
総合企画室 室長を兼務	日額 15,000円

別表 4 (非常勤役員の退職慰労金算定式)

役職名	算 定 式
理 事 長	在任年数×200,000円
副 理 事 長	在任年数×100,000円
理 事 ・ 監 事	在任年数×50,000円

※上記在任年数は1か年単位とし、端数は月割りとする。ただし、1か月未満は1か月に切り上げる。

別表 5 (交通費)

交通費	1km 単価50円
-----	-----------

別表 6 (役職手当)

役職名	算 定 式
常 務 理 事	基本給に次の係数を乗じて算定された額以内とする。31.0%